

技術広報委員会委員 殿

一般社団法人  
日本グラウンドマンホール工業会  
事務局 大石 直豪

## 第23回 技術広報委員会議事録

1. 開催日時 令和4年5月12日(木) 15時00分～16時40分
2. 開催方法 リアル会場：TKP麴町駅前会議室8C  
オンライン：テレビ会議ツール「Zoom」
3. 参加者 (敬称略)
- |      |                        |
|------|------------------------|
| 委員長  | 広 滝 隆 行 (オンライン)        |
| 副委員長 | 岩 上 智 一 (リアル)          |
| 委 員  | 鬼 頭 賢 吾 (リアル)          |
| 同    | 加 藤 好 広 (オンライン)        |
| 同    | 山 下 俊 哉 (リアル)          |
| 同    | 萩 野 豊 明 (オンライン) (代理参加) |
| 同    | 松 村 孝 (オンライン)          |
| 同    | 松 島 誠 二 (リアル)          |
| 同    | 石 田 康 平 (オンライン)        |
| 同    | 竹 中 史 朗 (オンライン)        |
| 事務局  | 大 石 直 豪 (リアル)          |
| 欠 席  | 清 水 壱 浩                |
| 同    | 荒 木 勇 輝                |

## 議事経過

事務局より開催宣言および出欠状況の報告の後、広滝委員長から「昨年度は1991年の設立後30周年の扉を開けてという年度だったが、コロナ禍もあり十分な動きが出来なかった。また下水道の汚水処理未普及人口も1,000万人を切った中、当委員会で検討を重ね下水協G-4規格改正に着手し、HPも各位の協力によりリニューアルすることができ幾つかの種まきもできた。

今年下水協G-4規格改正を完結させて活用するフェーズに移行したいこと、コロナ後を考えて本格的な活動をどのように展開するかを考えていきたい。

今日は令和4年度の活動計画を改めて説明するので、リアル・オンライン参加問わず、委員の皆さんの活発な議論をお願いしたい。」との挨拶があり、その後審議に入った。

### 第1号議案：令和4年度活動計画（案）について

広滝委員長より議案書に基づき、令和4年度活動計画（案）について詳細な説明があった。

その後、質問、確認等を募ったが特になく、第1号議案を終えた。

### 第2号議案：JSWAS G-4規格改正の進捗状況について

石田委員より「第2回 鉄系製品小委員会」の資料を用いて、防食試験の考え方の説明、過去2回の鉄系製品小委員会で事業体委員の質問・指摘事項の共有があり、次回以降の小委員会で回答・説明する内容について事前に詳細な説明があった。

松島委員より、説明の内容は前回小委員会で指摘事項と次回の小委員会で回答する内容と理解して良いかとの確認があった。

更に広滝委員長より、今回の規格改正の背景と目的を事業体委員に、下水道管路施設の中でグラウンドマンホールは防食性能がないこと、グラウンドマンホールの維持管理操作の特殊性を改めて認識して頂くように説明したいとの補足があった。

その後、質問、確認等を募ったが特になく、第2号議案を終えた。

### 第3号議案：下水協 令和4年度認定資器材研修について

事務局より資料に基づき、令和4年度認定資器材研修の開催概要について詳細な説明と、屋内・屋外講習の講師設定案、研修会開催都市の近隣委員の設定案の説明および支援協力要請があった。

その後、質問、確認等を募ったが特になく、第3号議案を終えた。

### その他 HP 特設ページの概要について

事務局より資料を用いて、当工業会のHPの中に、設立後から30年の間に行ってきた活動を整理し解説した特設ページを設ける作業を行っており、6月10日の社員総会でお披露目したいとの説明があった。

更に、社員総会后に30年間の活動で創りあげてきた社会的・経済的価値についても追加していくことにしているとの説明があった。

以上で議案審議を終了した。

## 閉会挨拶

岩上副委員長より、「この2年間はコロナ禍の影響も大きかったが様々な制限も緩和の方向にあり年度も改まったため、技術広報委員会として活動を強化したいので協力をお願いしたい。」との閉会の挨拶があり、本日の委員会を終えた。

この議事録を証するため、委員長次に記名押印する。

令和4年5月12日

一般社団法人  
日本グラウンドマンホール工業会

技術広報委員会委員長 広滝 隆行

